

指定管理者評価シート

事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課(電話番号)	南区市民部地域振興課(582-4723)
-----	-----------------	-----------	----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市藤野地区センター	所在地	札幌市南区藤野2条7丁目2番1号
開設時期	平成元年4月1日	延床面積	1,524.30㎡
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設	ホール(アリーナ)、集会室(2室)、和室、実習室、娯楽室(2室)、図書室		
2 指定管理者			
名称	札幌市藤野地区センター運営委員会		
指定期間	令和5年(2023年)4月1日～令和10年(2028年)3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由: 当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことによって、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながる事となる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。		
指定単位	施設数: 1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位			
	施設数: 1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和5年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>▼下記の6項目を柱とした基本方針を策定している。</p> <p>(1)市民の福祉増進に努め公平な利用に供する管理運営を行う。</p> <p>(2)施設の効用を最大限に発揮する。</p> <p>(3)まちづくりの人材育成やまちづくり活動の助長を推進していく。</p> <p>(4)サービス水準の維持向上に努め、継続的なサービスの提供を行う。</p> <p>(5)利用者の声を常に把握し、管理運営に反映させる。</p> <p>(6)最小の経費で最大の効果を上げていく。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>▼「札幌市藤野地区センター平等利用確保の方針」に基づき、ミーティング等で啓発を繰り返し行った。その結果、貸室業務(申請、預かり、予約、抽選)の公平性、高齢者や障がい者など、だれでも公平に利用できる環境づくりができた。</p> <p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>▼利用者への影響が少ない範囲において、廊下や給湯室の照明の間引きなどを実施したほか、昼休み時間や日差しの状況に応じた事務室の消灯など、年間を通じて節電に努めた。</p> <p>▼灯油については室内温度に応じた暖房の調整を行い、エントランスのロードヒーティングを可能な限り職員による除雪に切り替えるなど、利用者サービスの低下を招かないよう配慮しつつ省エネ対策に努めた。</p> <p>▼事務用品、清掃用品は環境に配慮したものを使用しグリーン購入ガイドライン指定品を購入した。</p>	<p>・利用者の区別なくサービスを提供できた。</p> <p>・まちづくり団体の活動がセンターを中心に行われた。</p> <p>・音楽まつりや文化祭などのイベントとで施設の集客効果を発揮できた。</p> <p>・机やイスなどの備品は、使用できるか点検し順次更新していく。</p> <p>・要望等は少ない方であるが、アリーナの窓のブラインドの修理に至らなかったのは残念である。</p> <p>・電気料金等が大きく支出していく中で、残りの財源をやりくりして5年度の事業を完遂できた。</p> <p>・条例に基づいた利用承認や利用方法で管理運営を行い、抽選等を行う公平性も利用者の理解を得られ、平等利用方針に沿った業務を遂行できた。</p> <p>・省エネ・省資源など環境への配慮を、施設の目標として取り組んでおり、職員の環境意識を高めることができた。</p>	<p>A B C D</p> <p>適切に実施されている。情報セキュリティは仕様書でも別に定められた特に重要な事項であり、これに関する研修を行ったことは評価できる。</p>

- ▼札幌市環境マネジメントシステムに則り、各種帳票を提出した。
- ▼各職員がエコオフィス行動表で毎月チェックを実施し環境配慮の意識向上に努めた。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

- ▼地域住民による運営委員会の下に事務局を設置。統括責任者(館長)、職務代理人(副館長)、図書司書など必要な職員を配置している。

▼人材育成

以下の研修等を計画、実施した。

開催日	研修名	概要	参加人数
毎月	環境保全・省エネ研修	職員の自己チェック表による確認	15
4/19	接遇研修	接遇とは見ること聞くこと	6
7/5	接遇研修	好感を持たれる話し方	6
10/4	接遇研修	感謝の心の伝え方	6
2/14	接遇研修	電話対応の基礎	6
5/10	関係法令実務研修	事務取扱要領について	12
3月	情報セキュリティ研修	情報セキュリティについて	12
9/15	防火管理者研修	R5教養セミナー	1
11/7	HP担当者研修	HPレベルアップ講習	1
12/26	救急救命・AED研修	札幌市防災協会にて	2
-	経理実務研修	講習実施なし	-
-	図書職員研修	講習実施なし	-

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

- ▼職員の日々の引継ぎ事項や、休日、夜勤職員の交代時には、口頭や業務日誌等により連絡を滞りなく行うことができた。
- ▼職員ミーティングを毎週実施し情報を共有するとともに、業務遂行をする上での注意点を周知するなど意識の向上に努めた。
- ▼利用者対応、平等利用等についての業務チェックリストを作成し、各職員が、毎月それぞれの対応を振り返りながら自己評価を行っている。

・適切な管理を行うため、必要な組織整備や従事者の確保・配置をし、円滑な運営ができた。

・職員研修では、年4回の接遇研修を実施し利用者の対応に生かしている。また、外部研修にも参加し、業務のレベルアップに役立てている。R5年度からは新たに「情報セキュリティ研修」も始めた。

・組織内で常に情報を共有し、各業務についての見直し、改善につなげる事ができ、利用者対応も向上した。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

▼警備、電気工作物保守、エレベーター保守、自動ドア保守、舞台装置保守、ボイラー保守、地下貯油槽点検、建築基準法定期点検、駐車場除排雪、定期清掃、受水槽清掃について第三者による委託を行い、適正に業務が遂行された。

▼除雪については駐車場内に溜まった雪山の状況を観察しながら、適宜排雪の指示を行い、隣地に流れ込まないように管理を行った。

・委託業務は、どの契約業者も仕様書に沿った適正な業務を遂行した。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

▼運営協議会の開催状況は下表のとおり

開催回	協議・報告内容
第1回	1.地域振興課からの連絡等 2.情報交換
第2回	1.地域振興課からの連絡等 2.情報交換
第3回	1.R5年度の各種事業について 2.予算執行関係について 3.アンケート実施結果について
第4回	1.地域振興課からの連絡等 2.情報交換
<協議会メンバー>	
利用者代表	サークル講師、会員
地域代表	食生活改善推進員協議会会長 老人クラブ協議会総務
南区役所	南区市民部地域振興課課長、地域活動担当係長、まちづくり推進係職員
運営委員会	会長、総務部長、事務局長

・全体会議では、事業内容などの報告をし、各委員からの意見を受け業務の改善に繋げた。

▼行政関係機関、教育機関、地域住民組織、サークルなど、形態別に分類した関係機関一覧表を作成し、各イベント等の案内に利用した。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

▼資金管理については、指定管理業務と自主事業業の区分経理を実施しており、税理士による外部会計監査を導入し経理等の点検を行っている。

▼現金管理については、現金等取扱規定を整備し、現金出納簿、利用料出納簿、預かり金出納簿、後納利用台帳でそれぞれ収入・支出の管理を行っている。また、現金については事務室内金庫において施錠管理しており、入金に関しては、翌銀行営業日までに預入している。

・現金等取扱規定に基づき、適正な会計業務を行った。

・住民組織による外部監査も行き、透明性を一層高めている。

	<p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>▼要望・苦情については、処理報告書を整備し、職員間の情報共有を行うとともに、区の所管部に連絡をすることとなっている。</p> <p>▼R5年度の要望・苦情</p> <p>8月末に36°Cの気温を記録したが、集会室を使用していたサークルから、毎年のように暑さが増しているのに、クーラーが設置されていないのはおかしいと申し出があった。</p> <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>▼利用者アンケートの結果については、集約・分析し館内に掲示したほか、南区と運営協議会に報告した。</p> <p>▼講座、文化祭、各スポーツ大会についてもアンケートを実施し事業企画の参考にしてている。</p> <p>▼事業報告については、定められた様式に従って毎月区の所管部に提出している。札幌市の検査については、関係書類を整え区所管部の財務及び業務検査を受けた。</p> <p>▼職員各自の業務チェックリストを作成し、毎月三段階の自己評価を実施した。(「管理水準の維持向上に向けた取り組み」に記載したとおり)</p>	<p>・アンケートで寄せられたご意見に対して、情報共有をし対応した。</p> <p>・業務チェックリストにより各自のレベルアップをめざした。</p>					
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)</p> <p>▼施設で働くパート職員に対し、北海道の最低賃金960円(R6.10.1発行)と同額の960円の時給を支給した。</p> <p>▼時間外勤務や休日出勤をさせる場合は、書面による労使協定(36協定)より必要な定めをし労働基準監督署に届け出た。</p> <p>▼全ての労働者を労災保険に、条件を満たす労働者を雇用保険に加入させた。</p> <p>▼1年に1回の定期健康診断を実施した。</p> <p>▼安全衛生推進員を配置している。</p> <p>▼労災保険が適用される事案はなかった。</p> <p>▼就業規則に「無期転換ルール」を導入し、対象職員からの申込により無期労働契約に転換している。</p> <p>▼職員の育児・介護休暇等に関する規則を定めている。</p> <p>▼ワーク・ライフ・バランスの取組に関して適切に実施した。</p>	<p>・法令を厳守し、またライフワークバランスにも十分配慮した勤務体制を整えている。</p> <p>・労働基準監督署の行政指導は受けなかった。</p>	<table border="1"><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr></table> <p>適切に実施されている。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

(3)施設・設備等の維持管理業務			A B C D
			適切に実施されている。
	<p>▽ 総合的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>▼利用者の安全について、冬季に玄関通路ガラス屋根からの落雪があるため、雪庇を取り除くとともに、適宜セーフティーコーンを置いて安全を確保した。又、館内の段差部分にはテープを貼り注意を促した。</p> <p>▼拾得物取扱については、現金、貴重品は警察に届出し、その他の物についてはガラスケース(常時施錠)保管し、速やかに所有者に返却できるように努めた。</p> <p>▼施設職員連絡網、関係機関連絡先一覧表等を作成し、適切に対応できる体制をとっている。</p> <p>▼損害賠償保険については、札幌市の仕様書に適合したものに加している。また講座、交流事業中の不慮の事故に備えたレクリエーション保険にも加入している。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>▼第三者委託により実施した、警備、清掃、各種保守点検、除雪等の業務については仕様書の水準を達成した。</p> <p>▼屋上の雨水排水口については、枯れ葉等による詰まり防止のため、定期清掃以外にも適宜点検・清掃を行った。</p> <p>▼駐車場については、駐車スペースが少ないため、センター広報や館内貼紙を通じて、公共交通機関の利用や駐車マナーの向上を繰り返し呼びかけた。又、駐輪場の表示を分かりやすくし、点字ブロック付近に駐輪している自転車には注意喚起の用紙で呼びかけた。</p> <p>▼軽微な修理等は職員が対応した。</p> <p>▼R5年度は大きな催しがあるたびに1階のトイレが詰まったため、高圧洗浄をかけるとともに、排水の流れを強化した。</p> <p>▽ 防災</p> <p>▼防災計画を毎年更新している。</p> <p>▼まちづくりセンター、警備会社、警察、隣接施設を含む連絡網を作成している。</p> <p>▼8月、2月に自衛消防訓練を実施した。</p>	<p>・利用者の安全確保のため点検等を行っている。</p> <p>・施設の老朽化が目立ってきているが、利用者の安全確保のため、維持管理を適切に対応できるよう努力している。</p> <p>・施設や備品の不備が起きた際には迅速な修理に当たった。</p> <p>・自衛消防訓練を実施する事により職員の防災意識を高めている。</p>	

(4)事業の計画・実施業務

▽ 区民講座に関する学習機会の提供業務

	(参考) 前年度実績	計画	実績
講座数	13	18	12
回数	16	22	17

	講座名	回数	募集 人数	受講 人数	実績(%) ※目標80%		
					参加 率	理解 度	満足 度
1	家庭菜園講座～夏野菜の育て方～	1	20	19	95	100	100
2	もう少し早く走るために！かけっこ講座	1	14	9	64	100	100
3	美術への誘い	1	12	7	58	100	100
4	パーソナルカラー講座～パーソナルカラーで素敵に見える色とコーディネート～	2	12	7	58	100	100
5	ボディメイク床パレエ	4	16	10	63	100	100
6	地域健康づくり支援講座 訪問する医療～なにができるの？どう付き合うの？	1	20	23	115	100	100
7	ハロウィン飾り巻き寿司講座	1	26	10	38	100	100
8	スマホ教室～はじめてのスマートフォン体験～	2	20	21	105	10	100
9	アイヌ刺しゅう講座	1	10	13	130	100	100
10	料理教室～野菜を食べて腸内を健康に～	1	18	6	33	100	100
11	冬の体験講座～スノードームを作ってみよう～	1	15	8	53	100	100
12	親子料理教室	1	5	2	40	100	100
計		17	188	135	-	-	-

・5年度は18講座を計画。参加者少数のため5講座が中止、1講座は食中毒・熱中症予防のため、1講座は講師の都合がつかず中止となった。スマホ教室やアイヌ刺しゅう講座など計12講座を実施した。募集人数188名に対し、135名が参加し71%の受講率であった。

・まちづくり関連では、食育に関する「料理教室」「親子料理教室」はコロナ禍以来の開催となった。

・開催講座については全体として71%の受講率で、理解度、満足度に関しては100%となり好評だった。

A B C D
適切に実施されている。区民講座は計画値よりも下回ったが、昨年の酷暑のため冷房設備が設置されていない当センターにおいては講座の中止や夏期における参加者の減少による講座の中止はやむを得ないと思料する。今後はエアコンの設置などが進められるため、一層の事業の実績向上を期待する。

▽ 地域住民の交流等を目的とした事業に関する業務

	(参考) 前年度実績	計画	実績
講座数	9	14	12
回数	19	25	24

	事業名	回数	目標 人数	参加 人数	参加率(%) ※目標80%
1	ふじの・ときめき・音楽まつり	1	150	111	74
2	文化祭	1	500	475	95
3	卓球大会	0	0	0	-
4	バトミントン大会	1	30	24	80
5	ミニバレー大会	1	25	23	92
6	バレーボール大会	1	30	26	87
7	地域小学校の生活科授業の受け入れ	4	99	99	100
8	近隣老人施設(デイサービスセンター・グループホーム)との連携	0	0	0	-
9	おはなしの会	8	40	24	60
10	なつのおたのしみ会	1	20	16	80
11	ふゆのおたのしみ会	1	15	9	60
12	クリスマス会	1	50	39	78
13	こども一日司書体験	3	6	5	83
14	なつかしビデオアニメ上映会	1	10	5	50
	計	24	975	856	88

・地域住民の交流を目的とした事業の「卓球大会」は、大会自主運営グループ、参加者がいないため中止。

・「おはなしの会」、「おたのしみ会」、「クリスマス会」は、地域の読み聞かせボランティア団体と連携して実施している。

・読み聞かせ等の事業は、新型コロナが落ち着いたため、いつも通り親子で安心して参加をしてもらった。行事をきっかけに、図書室を身近に感じてもらい、利用促進に役立てたい。

・利用者の相互交流を目的としたスポーツ大会であるが、その運営にあたっては利用者の自主運営により実施しており、事業への利用者参画の取組として定着している。コロナ禍の3年間、中止が続いていたが、今年度より開催。「卓球」は、人が集まらず、自主運営グループがいないため、中止となったが、他の種目は開催できた。久しぶりの大会開催に参加者は、楽しく参加し、満足度の高い大会となった。

・地域小学校の生活科授業の受け入れで、センター見学をきっかけに子供たちの図書室の利用や子供サークルへの加入が見込まれるので、今後も見学の受け入れを継続していきたい。

▽ 地域の憩いの場づくり施設活用事業(無料)に関する業務

	(参考) 前年度実績	計画	実績
事業数	8	8	8
回数	325	564	287

	事業名	回数
1	卓球	56
2	バドミントン	56
3	バレーボール	29
4	ミニバレー	49
5	ファミリー ※7月～家族開放	30
6	ゲートボール	14
7	囲碁・将棋	26
8	学習室	27
	計	287

・開放事業は利用者サービスの一環として空き室を活用しているが、この中からコミュニティの担い手となる人材を得ていくことも狙いとしている。

・R5年度は長期の中止はなかったが、電気料金の高騰により、事前の周知を計りながら、7月より月2回の開催に変更した。

・「ファミリー」に関しては、家族ではなく、グループの利用が多く見受けられたため、開催日を減らすタイミングで「ファミリー」の名称を「家族開放」に変更し、ルールの厳守を徹底したことにより、本来の目的である親子でスポーツを楽しむことができるようになり新規利用者の増加にも繋がってる。

▽ 図書業務

▼ 普及行事・展示の企画実施

	(参考) 前年度実績	計画	実績
開館日数	279	-	280
貸出冊数	49,657	-	47,226
普及行事 展示回数	26		26

	行事・展示名	回数
1	道内出身直木賞芥川賞	12
2	本屋大賞受賞作	12
3	大河ドラマ	8
4	映画・ドラマになった本	3
5	花粉症に注意!	2
6	園芸・野菜作り	4
7	入園・入学	3
8	卒園・卒業	3
9	ドライブに行こう!	2
10	保存食	2
11	旅行	8
12	大掃除	3
13	ウォームシェア	3
14	健康・身体のケア	6
	計	71

▽ 市民の自主活動及び交流の支援業務

▼ 藤野地区町内会連合会による文化展、書初め大会
カルタ大会、社会福祉協議会によるふれあい交流会
などの支援を行った。

・図書室に興味を持ち、読書を楽しんで
もらうことが最大の
目的であり、テーマ
展示により普段手
に取らない本が目
に留まり、新たな貸
出しにつながって
いる。

・直木賞や芥川賞な
どの受賞作を集め、
決まった棚やワゴン
に入れている。見つ
けやすいと、利用者
からも好評を得てい
る。

・これからも季節や
話題性を考慮し、手
に取ってもらいやす
い本を展示したイベ
ントコーナーを展開
していきたい。

・他団体への支援・
協力についても内容
を精査し、積極的
に実施していきたい。

(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼センター広報を毎月発行しPRに努めた。 ▼館内2カ所にあるサークル案内ポスターをジャンル別にし見やすくしている。 ▼ホームページにより最新の空き室状況や、講座、各イベント案内、利用方法などの情報提供を行った。 ▼ウェブアクセシビリティの取組については、ホームページ作成ツール内で確認している。 ▼ホームページと館内掲示の両方でリアルタイムでの空き室状況の提供を行った。 ▼講座事業については広報さっぽろ、センター広報、ホームページでのPRの他、講座ごとの募集案内を作成し館内に掲示した。 <p>▽ 引継ぎ業務 (前回からの継続指定のため、引継ぎ事項なし)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・センター広報やホームページによる広報活動で、センターの利用、講座の参加、コピーサービスの利用などのPR効果が得られた。 ・ウェブアクセシビリティの向上に向け誰でも見やすい情報提供を心掛けている。 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%; background-color: yellow;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> </table> <p>適切に実施されている。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				
2 自主事業その他							
▽ 自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ▼飲料自動販売機1台を自主事業として設置している。 R5年度の販売手数料は117千円となった。 ▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 <ul style="list-style-type: none"> ▼第三者委託については、市内業者への委託を基本としている。 ▼利用申請承認書の印刷を、障がい者施設に発注した。 ▼盲導犬協会への募金箱を継続して設置している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アリーナの利用や無料開放事業の再開などにより、自販機の販売手数料が増加した。 ・地元業者を活用することにより、効率的な業務を行っている。 ・交流事業では福祉施設のパン販売を実施している。 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%; background-color: yellow;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> </table> <p>適切に実施されている。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

		A	B	C	D	
実施方法	<p>①一般アンケート(R6年2月) 来館者 100人に用紙を配布して実施 回答者 100人</p> <p>②講座受講者アンケート(R5年4月～R6年3月) 受講者 135人に用紙を配布して実施 回答者 134人</p> <p>③図書室利用者アンケート(R5年11月) 来館者 50人に用紙を配布して実施 回答者 34人</p> <p>④各種大会参加者アンケート 参加者 73人に用紙を配布して実施 回答者 65人</p>	<p>・アンケートは毎年実施しており、利用者の多様なニーズ把握に努めている。</p> <p>・6年2月に実施した利用者アンケートでは、計100名に配布し、全員から回答を得た。貸室や、館内清掃に高い評価だった。職員対応について、一部指摘があったため、改めて見直し、改善に努めていきたい。</p>	<p>利用者の満足度に係る要求水準を定めている項目について、全て目標値を10ポイント以上上回る数値となっており高く評価できる。</p>			
結果概要	<p>①一般アンケートの主な結果(R6年2月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的満足度について(要求水準:普通以上80%) 大変良い～普通 97% ・職員対応について(要求水準:普通以上80%) 大変良い～普通 93% ・貸室について(要求水準:普通以上80%) 大変良い～普通 100% ・施設内の清掃について(要求水準:普通以上80%) 大変良い～普通 100% <p>②講座受講者アンケート(R5年4月～R6年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各講座の受講者満足度 100% ・各講座の受講者理解度 100% <p>③図書室アンケート(R5年11月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・70代が最も多い。次いで60代。利用者のほとんどが南区在住だった。 ・本の探し方や調べ物の相談 満足～どちらかといえば満足 73% ・図書館職員の利用者への対応 満足～どちらかといえば満足 97% ・全体的な満足度 満足～どちらかといえば満足 91% <p>④各種大会参加者アンケート(R5年11月～R6年2月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・50代が最も多い。次いで60代、70代。他区からの参加も多かった。 ・各種大会の参加者満足度 満足～どちらかといえば満足 100% ・競技時間や開催時期について 今のままでいい 98% ・今後も大会に参加したいか ぜひ参加したい～都合つけば参加したい 100% 	<p>・講座受講者へのアンケートの実施は、次年度講座の計画作成に役立った。</p> <p>・満足度理解度において高い評価を得たので、さらに受講者の声を反映させながらより良いものを実施していきたい。</p> <p>・受講者の多くが、センター広報や広報さっぽろで講座を知り申し込んでおり、今後も各広報紙の内容の充実に向けていきたい。しかしながら、参加希望者が集まらず中止になった講座もいくつかあるため、他のPR方法を検討し改善していく必要がある。具体的には、各町内会館、各小学校や児童会館、大型商店などにポスター掲示を依頼する。</p> <p>・今後もアンケート結果で出た意見要望は具体的な内容を分析、検討し改善に努めていきたい。</p>				

利用者からの意見・要望とその対応	【意見】 トイレの手洗い場の水の出が良くない。	<p>・アンケートやご意見箱、運営協議会等で把握した利用者意見、要望について、施設として有効な事柄については、経費、手法的に可能な限り実施して来ている。</p> <p>・施設面や経費面で指定管理者の裁量を超える意見、要望については利用者の声として南区に伝えることとしている。</p>
	【対応】 R6年度修理予定。	
	【要望】 冬場駐車場が狭く、しっかりと除雪をしてほしい。 多数意見あり	
	【対応】 業者と密に連絡を取り合い、適宜除排雪を徹底する。 尚、日中の除雪に関しては、外の状況を確認しながら職員一同で対応していく。	
	【要望】 クーラーの設置。多数意見あり	
	【対応】 集会室ABIに設置予定。他貸室は、スポットクーラーにて対応予定。	

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	R5年度計画	R5年度決算	差(決算-計画)
収入	35,180	35,722	542
指定管理業務収入	35,080	35,605	525
指定管理費	29,020	29,020	0
利用料金	5,500	5,371	▲ 129
その他	560	1,214	654
自主事業収入	100	117	17
支出	35,030	34,949	▲ 81
指定管理業務支出	35,030	34,949	▲ 81
自主事業支出	0	0	0
収入-支出	150	773	623
自主事業による利益還元	0	0	0
利益還元	0	0	0
法人税等	0	243	243
純利益	150	530	380

【参考】	R5年度決算	内容
指定管理業務による利益還元	49	下記のとおり

▽ 説明

- ・1階ロビーの貸室状況掲示板(3か月分)の更新
- ・収支は差引530千円となった
- ・自主事業はR6年度利益還元予定(移動式クーラー等購入)

・トイレ排水管の詰まりにより2度の修繕を行った。

・引込電線管が腐食しているため、防護工事を行った。

・集会室のワイヤレスマイク受信装置の故障により、チューナーの交換を行った。

・電気料金の高騰によりR5年度の予算に修繕費や備品購入費に十分な予算は付けられなかった。

・コロナ禍の休館時に行事等の支出がない中、札幌市からの補填金もあり、単年度の余剰金が多いということで法人税が課せられた。

A	B	C	D

適切な収支により施設運営されている。

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。		
▽ 安定経営能力の維持 <ul style="list-style-type: none"> ▼ R5年度の利用料は目標に届かなかったものの、サークル数が減少する中で500万円を超えた。 ▼ 電気料金の高騰に対応するため、これまで毎週実施していた無料開放を7月から月2回の実施に変更した。 		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 適 不適 </div>
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 <ul style="list-style-type: none"> ▼個人情報保護条例に則り、個人情報の適切な事務取扱を行った。 ▼情報公開請求はなかった。 ▼行政手続条例、オンブズマン条例への対応調査はなかった。 ▼協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。 		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 適 不適 </div>

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	次年度以降の重点取組事項
<p>0【事業系】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座は19講座を計画していたが、受講者応募数等により9講座を中止とした。アイヌ刺しゅう講座は興味のある人が多く、人気があった。 ・各種スポーツ大会も数年ぶりの開催で、卓球を除く3種目を実施した。 ・3回目を迎えた「ふじの・ときめき・音楽まつり」は2グループの出演で、100名を超える観客があり、地域住民に喜ばれるイベントとして定着してきている。 ・文化祭は、ステージ発表会の参加サークルが減少傾向にあり、舞台をにぎわせるために、「ふじの・ときめき・音楽まつり」の出演グループにも再度出演してもらった。作品展示発表会もサークル数が減少したが、少ない分個々の作品の出来栄が際立っていた。 ・地域の憩いの場づくり施設活用事業は、電気料金の高騰のため、毎週実施から月2回の実施に変更。変更に伴う大きな混乱もなく実施できている。 ・図書室事業では、貸出数もコロナ禍前に戻りつつある。また、おはなしの会やおたのしみ会等の行事参加者も増えてきている。 <p>【施設保全系】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月末に36℃の暑さがあり、サークルのキャンセル(キャンセル料免除)が続出し、苦情も寄せられた。 ・1階のトイレが年に2度詰まり、使用できなくなった。音楽会や税の相談会などの大きな催しになると大勢の利用者がトイレに殺到するためと思われる。高圧洗浄、薬剤注入を行い、洗浄時の水流を強めた。2回以上流すことを利用者にもお願いした。上下水道料金の上昇が懸念されるが、致し方ない。 ・今年度の降雪はほぼ平年並みだったため、エントランス屋根の積雪は、天気を見ながら職員で落雪させることができた。 <p>【財務系】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気料金高騰による光熱費の支出が重く、修繕費や備品消耗品に十分な予算配分がづらい状況が続いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長年実施してきた講座でも、参加者の少ない講座は見直し、リフレッシュを図る。 ・「ふじの・ときめき・音楽まつり」はセンターの中心事業として定着化できるよう工夫を重ねていく。 ・暑さ対策として、全室に移動式クーラーを設置していきたい。 ・開館時から使用しているイスの数が多く、だんだんと痛んできている物が目立ってきているので、徐々に新規更新していきたい。 ・光熱費の比重が大きいいため、財政面での苦しさは変わらないが、移動式クーラーや利用者に人気のある「すべらないスリッパ」の購入を、自主事業会計からの支出も考えていきたい。 ・また、最低賃金の上昇に伴い、パート職員の賃金は毎年上がっているが、正職員の給料は5年間据え置いており、R6年度から導入されるスライド賃金制度に期待していきたいと思う。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>・新型コロナウイルスの影響でサークル等の解散などにより計画を下回ったことや、冷房設備の備えていない当センターにおいて令和5年の酷暑は施設利用の低迷を招いたが、そのような中でもニーズに即した事業を安全に開催したと認められる。令和6年度中に一部の貸室において冷房設備が設置されることから、一層の利用率向上を期待する。</p> <p>・物価や人件費が高騰する中、収支が黒字になったことは評価できる。引き続き、健全な運営に期待する。</p>	(改善を要する事項は特になし)